

ワイヤーメッシュ柵と電気柵を組み合わせた複合柵によるイノシシ及びニホンザル対策

1 取組の背景

- 新見市上熊谷地区ではイノシシやニホンザルによる水稲被害（稲穂の食害、茎葉の倒伏）を受けており、栽培意欲の減退に招いています。
- 昨年、電気柵やワイヤーメッシュ柵（以下、WM柵）を設置したほ場でも被害が発生したことから、本年はWM柵と電気柵を組み合わせた複合柵を設置し、被害の軽減を目指しました。



設置した複合柵

2 実証内容(設置方法)

①WM柵を設置する

裾からの潜り込みを防ぐため、1m間隔で鉄筋杭を打ち、固定する

②電気柵支柱を打ち込む

WM柵の網目の大きさが変わる位置から突き出すように、電気柵支柱を斜めに打ち込む（4m間隔）

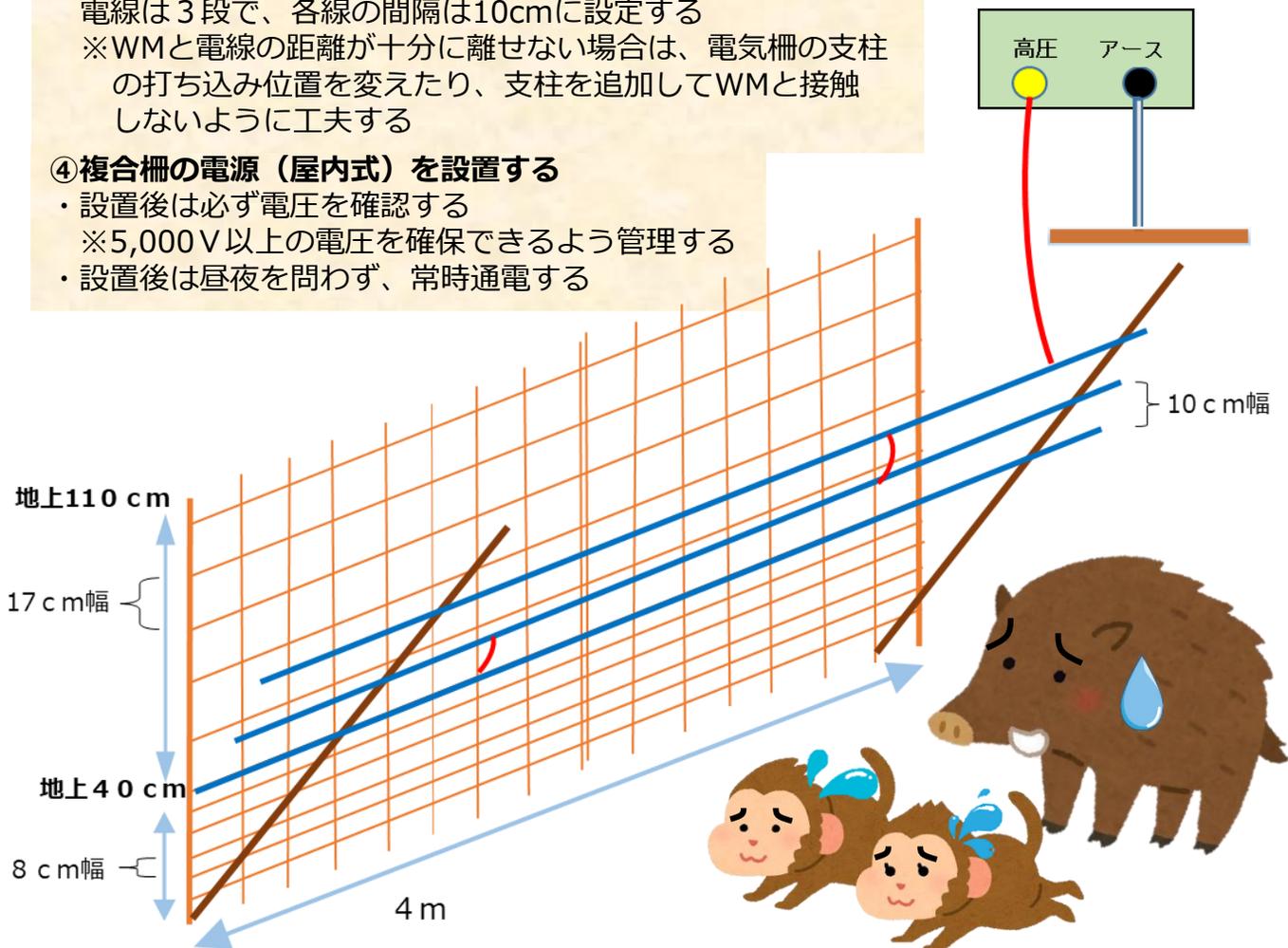
③電気柵を張る

電線は3段で、各線の間隔は10cmに設定する

※WMと電線の距離が十分に離せない場合は、電気柵の支柱の打ち込み位置を変えたり、支柱を追加してWMと接触しないように工夫する

④複合柵の電源（屋内式）を設置する

- ・設置後は必ず電圧を確認する
- ※5,000V以上の電圧を確保できるよう管理する
- ・設置後は昼夜を問わず、常時通電する



3 設置資材(8a、外周170m)

(参考価格：税込)

区分	資材名	規格	単価①	数量②	小計①×② (円)
WM柵	WM	幅2m×高さ1.2m、φ4mmスクリュー 網目：上段170mm×205mm×4段 下段 75mm×205mm×5段	1,080	90	97,200
	鉄筋杭	φ13mm、長さ1375m	303	180	54,540
小計					151,740
電気柵	本器 (電源)	屋内設置用100V	44,000	1	44,000
	支柱	F R Pポール14mm×90cm	286	45	12,870
	電線	500m巻	7,700	1	7,700
	ガイシ	14mmフック	55	135	7,425
小計					71,995
合計					223,735

4 対策結果の概要

- イノシシは、複合柵に接近したが侵入できず、被害を完全に防ぐことができた。
※隣接する電気柵のみのほ場（対照区）には侵入され、被害が発生した。
- ニホンザルは、栽培期間中ほとんど集落に姿をみせなかったため、効果は不明



設置したセンサーカメラ



ほ場に接近するイノシシ

5 補足

- 電気柵のみのほ場では、7月下旬よりイノシシが侵入し、土手やあぜ際を掘り返す被害が発生した。侵入経路を特定し、該当箇所の電気柵を補強（電線の列数を追加、電柵の高さを下げる）した結果、8月中は侵入を防ぐことができた。
- しかし、9月に再びイノシシに侵入され、水稻の踏み倒し、あぜ際の掘り返しが頻発するようになったため、8月と同様の対策を講じたが、今度はイノシシの侵入を止めることはできなかった。
- このため、9月中旬に電気柵の内側に物理的な障壁となる防風ネット（4mm目、高さ1m）を設置したところ、以後、収穫期となる11月下旬までイノシシの侵入は確認されず、被害を軽減することができた。
※上記対策を「補足事例」としてまとめるとともに、令和6年度以降も継続調査する。